

品川区長 濱野 健様

リオデジャネイロオリンピック視察・調査への職員・議員派遣の  
中止を求める申し入れ

2016年7月6日 日本共産党品川区議団  
幹事長 飯沼雅子  
維新・無所属品川  
幹事長 須貝行宏  
品川・生活者ネットワーク  
幹事長 吉田ゆみこ

私たち三会派は、6月29日付で議長、議会運営委員会委員長に対し、リオ・オリンピック視察・調査への議員派遣の中止を求める申し入れを行いました。

税金の使い方への区民の厳しい目が品川区にも向けられています。

区長に対しましても改めて区民の理解が得られないリオ・オリンピック視察・調査への職員・議員派遣の中止を求めます。

主な理由は以下5点です。

1. 運営責任者である大会組織委員会からの要請はなく、東京都と地元自治体の役割分担が決まっていない中、そもそもリオ・オリンピック視察・調査の必要性はありません。
2. 8月5日から11日までの行程表には、ビーチバレーボールとホッケーの競技観戦と書かれ、それ以外は各種視察と書かれているのみでどこでどのような調査を行うのか不明です。
3. 現地自治体、ボランティア、各国競技関係者との接触とありますが、いまだヒヤリングのアポイントが取れず、大会開催中の多忙期に効果的な成果が得られる保証はありません。

4. 多言語対応調査とありますが、表記等は大会組織委員会全体で統一して行うべきものであり、品川区独自の調査は特段必要ありません。
5. 当初予算 1 人あたり約 300 万円が約 200 万円に減額されたとは言え予算はあまりにも高額です。航空運賃 1 人 60 万 6050 円、宿泊費 1 人 1 泊 11 万 4286 円は条例規定の 7.4 倍とオリンピック価格です。通訳・ガイド関係費 140 万円、アテンドスタッフ渡航費用関係費 325 万 4430 円、コーディネート費用 231 万 1200 円等、この間の質疑で委託総額 2132 万 3000 円が 1499 万 8388 円に減額されましたが、そもそも当初予算は業者任せのずさんな予算であり適正な金額かが問われます。

以上